

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

### 事業名【新】防災情報通信システム衛星系設備更新事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 危機管理政策課 防災情報管理係 電話番号：058-272-1111(内2819)

E-mail：c11117@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 72,079 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	72,079	0	0	0	0	0	0	0	72,079
決定額	62,356	0	0	0	0	0	0	62,300	56

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

防災情報通信システムは、地上系、衛星系、移動系の3層一体で運用しており、大規模災害等の非常時に唯一の通信手段となりうる重要なシステムである。

衛星系の回線は、一般財団法人自治体衛星通信機構の地域衛星通信ネットワークを利用している。気象業務法において県から市町村に伝達義務がある気象特別警報等を伝達する、一斉指令のバックアップ回線を担う重要な回線であるが、現行の衛星系システム（LASCUM第2世代システム）は、令和9年度に運用を終了する方針が示されたため、衛星系設備の更新が必要である。

### (2) 事業内容

衛星系システムは、県庁（統制局）、各総合庁舎、各市町村、各消防本部等の全78拠点に整備され、実際に更新工事を発注するために、配線等の現地調査や図面作成等の業務を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方  
県10/10 (県の設備であるため)

(4) 類似事業の有無  
無

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	72,079	衛星系設備更新に係る詳細設計 (62,356千円) STAR LINK検証試験費 (9,723千円)
合計	72,079	

#### 決定額の考え方

事業内容等を精査し、所要額を計上します。

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

岐阜県地域防災計画 一般対策計画 第2章 災害予防 第1節 総則  
4 通信施設・設備等

「県、市町村等は、防災に関する情報の収集、伝達等の迅速化を図るため、集落、市町村、県、防災関係機関相互間における情報連絡網の整備を図るとともに、有線通信が途絶した場合でも通信を確保するため、無線通信施設等を整備し、その機能の充実と交信範囲の充実及び信頼性の向上に努めるとともに、万一これら施設に被害が発生した場合に備え、非常電源、予備機等の設置に努め通信連絡機能の維持を図るものとする。」

#### (2) 国・他県の状況

整備状況 (令和5年7月現在 (岐阜県調査より))

- ・第3世代を整備済み 1都2県
- ・第3世代を整備中 12県
- ・実施設計中 1府17県
- ・基本設計又は検討中 1道1府12県

#### (3) 後年度の財政負担

令和7年度から令和9年度にかけて工事を実施予定

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

現行の衛星系システムの運用終了（令和9年度）までに、衛星系設備の更新を行う。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率

### ○指標を設定することができない場合の理由

本システムの衛星系設備を現行システムの運用が終了されると言われている令和10年3月までに更新することを目標達成とする。

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	大規模災害等の非常時に唯一の通信手段となりうる重要なシステムであり、県、市町村、消防本部等の防災関係機関が相互に確実に情報を伝達できるようにする必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 現行システムの運用が令和9年度に終了するため、次期システムへの着実な設備更新が必要である。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 検討業務の結果に基づき、検証業務及び詳細設計業務を行う。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	